多彩な行事終る
維新から町はこんなに発展した！

＝明治百年記念農業・文化祭＝ふり返ってみれば、明治維新後の常に激しくゆれ動いていた社会の百年間でした。私たちの祖先はこの変動する百年間の苦しみにうち勝って、立派な郷土光町を作りあげたのです。十一月二十三日、勤労感謝の日を記念して行なわれた明治百年記念農業・文化祭は、成長した町の姿を祖先に対して誇ることのできる催しでした。

県下に誇る教育施設―光中学校で開かれた明治百年記念農業・文化祭は、式典に続いて、農業共進会、一般作品展示会、演劇などいろどり豊かに催されました。

共進会の部

最高賞は

川島　照男さん＝（そ菜）

鈴木千衣子さん＝（穀類）

土屋喜代志さん＝（畜産）

研究発表、展示とともに開かれた共進会は、園芸そ菜百九十九点、穀類六十八点、乳牛二十頭、枝肉豚六点が出品されました。

いずれ劣らぬなかから厳選された入賞者は次のとおりです。（敬称略）

▽そ菜の部

普及所長賞　宝米　川島　照男

町長賞　台　山崎　外四名

金賞　西高野　大木　武士　外一名

銀賞　木戸　椎名　茂夫　外二十一名

銅賞　宝米　平野　光雄　外二十七名

▽穀類の部

海匝支庁長賞　鈴木千衣子

町長賞　新井　森　秀雄

金賞　台　鈴木　重徳

銀賞　谷中　越川　正一

銅賞　長塚　小川　輝子　外八名

▽畜産の部

東部家畜保健衛生所長賞　芝崎　土屋喜代志　外五名

匝瑳地区農業共済組合長賞　芝崎　土屋喜代志

町長賞　芝崎　関　春雄

銀賞　長塚　吉田　誠　他二名

銅賞　篠本一区平山　誠　他二名

共進会に出された品は即売会でまたたく間に売り切れました。このほか、明治以来使われた農機具の展示、生活改善グループの研究発表も行なわれました。

なお即売会の益金は才末助けあい運動に使わせて頂きました。

一般展示の部

現在ではめったに見られない「地券」やその他の古文書とともに、よい子たちの作品三百七十九点などが会場を埋めました。

新年号発刊にあたって

広報編集委員長　川島克己

激動の年であった明治百年もくれようとしています。ふり返ってみますと広報の果す役割は非常に大きく、いつも編集委員会において討議検討を加えられつつ今日を迎えたわけですが、今まではとかくちた新春広報は庁内の行事を皆さんに御報告するだけにすぎず、内容的には改善の余地が十分のこされているとの声も聞かれていますので、この機会に広報の内容に再検討を加へ、町民の広報として皆さんの意を十分に尊重し、広く一般市民に親しまれ、どなたにもよろこんで読んでいただけるよう努力してゆきたいと思います。

これからは町民の御意見御希望をどんどん御応募いただき町民の意を十分反映させ広報ひかりに対する関心を高めると共に、町政発展の一翼をになうような新しい構想にきりかえて行きたいと思います。

本年は酉年です暁の空に一声高く鶏鳴山野にこだまして大地にしっかりと足を踏みしめ、初日の陽光をあびる姿は平和であり心強いものがあります。

皆さん方もこの酉にまけずに一年の間平和と希望にみちた年でありますよう心よりお祈り申し上げ発刊の御挨拶といたします。

（一般展示会場へつめかけた人達）

演劇の部
圧巻は二又の梯子獅子
＝十年ぶりの上演＝

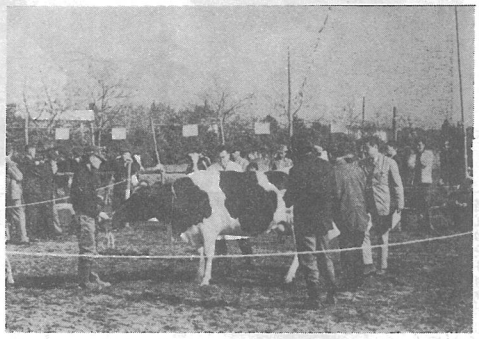
一方校庭では、古くから伝えられている郷土芸能や詩吟、武道に歌やおどりも加わって観衆は一日中楽しみました。

特に虫生の鬼来迎とともに町の無形文化財ともいうべき二又の梯子獅子は、旧と畜場改築以来久びさの上演で初めて見る人も多く、たく山の拍手を浴びました。

また、日吉婦人会のおおぎばやしもいろどり賑やかで会場を引き立たせました。

このような立派な郷土芸能を、いつまでもつたえることも私たちの義務ではないでしょうか。

（人気のあった二又の獅子舞）



（畜産の部　乳牛の審査風景）

式典

共進会や、演劇に先きだって開かれた式典は、九時から校庭で関係者二百余人が参列して挙行されました。

「立派な町をきずき上げられた祖先に感謝し、ますます郷土を発展させよう」と力強い町長や来賓の挨拶のあと、維新後町の発展につくされた方の表彰が行なわれました。

▽自治功労者

故信田市郎左衛門　虫生

故鈴木伊平　宝米

鈴木泰曾　新井

故向後四郎左衛門　作間内

故越川保三郎　谷中

故竹内啓太郎　上原

故椎名藤四郎　五ノ神

故斉藤清平　母子

▽産業功労表彰

土屋　克　小田部

土屋理一郎　篠本

郡司正中　篠本

故椎名豊七二又

故伊橋武成　原方

▽教育功労表彰

故伊藤貞吉　尾垂

故鈴木左衛門　木戸

故柳保　篠本

故鈴木文治郎　台

▽厚生功労表彰

故越川医院　五ノ神

故宮内医院　尾垂

議会だより

環境衛生組合を結成　九月
旧国道を町道に編入　十二月

九月定例会

十七日に開かれた議会では町長の施政報告のあと次の議案を審議、可決しました。

第一号　今まで農協関係から借入れていた場合にのみ認められていた農業近代化資金の利子補給を、これからは銀行から借入れても認めようとするもの。

第二号　光町、野栄町、多古町、八日市場市が共同で、火葬場を設けようとするもの。

第三号　一般会計の予算を一千八百九十二万七千円追加すること。

十二月定例会

十八日に開催され、別項のように神奈川県松田町と姉妹町の契約を結んだことなど町長から経過報告のあと、活発な一般質問に続いて次の九議案が審議され可決しました。

第一号　橋場十字路から、踏切りを通り母子へ通ずる旧国道が新国道と交わるまでの道路を国道から町道へ編入すること。

第二号　町営住宅の使用料を決める基礎になる所得について、控除を引上げること。

第三号　木戸百割にある町有の土地の処分について

第四号　新らしくなったと畜場で技術関係等の職員を増やそうとするもの。

第五号　消防団員がやめたときの退職金を増額しようとするもの。

第六号～第八号　一般会計及びと場、有線放送の二特別会計の予算を補正するもの。

第九号　四十二年度の決算の認定をうけるもの

最後に町の総合三カ年計画のうち第二年度にあたえる四十二年度の事業実績報告が承認されました。

栄ある叙勲
勲六等瑞宝章

故布施光次氏に

椎名清一氏

元警察署長、日吉村長、光町助役等を歴任され、ながい間地方自治発展のため、貢献された故布施光次氏が去る九月六日勲六等瑞宝章の栄誉に浴されました。また椎名清一氏は、永年にわたる教員生活を退任の後、教育委員、教育長等教育一途に献身された勲功により、十一月三日皇居において、勲六等瑞宝章が授与されました。

県表彰に輝く

＝日吉地区社会教育＝

同地区の社会教育活動は公民館を中心としてPTA、婦人団体、青少年相談員、社会教育委員などが密接な連けいで行なわれています。

毎夏の親子研修は開催するたびに好評をうけ、婦人学級も活ばつに行われています。

地域ぐるみの活動と、各団体の連絡協調ぶりが認められて今回の受賞となり、十一月十九日、県社会教育振興大会の席上で晴れの賞状を頂戴しました。

＝篠本二区緑地会＝

同会は農業研究会としては昭和二十三年の設立以来、水稲の新品種の導入、農機具の卒先導入と利用、肥料の実験研究等に積極的に取り組んでおり、このたび千葉県農業改良普及事業二十周年記念共賞の栄に浴しました。